

『洞窟環境 NET 学会紀要』 投稿要項・編集委員会規則抄

1. 紀要の目的

本学会の定期刊行物である紀要は、洞窟・環境・NETに関する論文、その他この分野の学術進歩、地域発展に役立つ知識、情報を提供し、広く社会発展に寄与する目的で刊行する。

2. 投稿の資格

投稿原稿の著者（連名を含む）は、本学会の会員でなければならない。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

3. 投稿の原稿

収録内容は、論文（原著、短報）、研究レポート（洞窟環境 NET 報告を含む）、研究ノート、学術交流講演、巻頭言、研究・学会動向、市民講座要旨、共同研究会要旨を主たるものとし、その他編集委員会が必要と認めた原稿とする。原稿は、邦文、英文を問わない。

4. 投稿の手続き

表紙、要旨、本文、図、表とともに正副2部（ただし1部はコピーでも可）を12月10日まで、事務局に提出する。

5. 原稿用紙と書き方

(1) 原稿用紙は、横書きで、ワードプロセッサによるもので、A4版の原稿用紙を用い、9ポイントの活字を用いる。句読点、引用符等は1字として1マスとする。原稿用紙で6枚を上限とする。

(2) 表紙には、表題、著者名、著者の所属機関を明記。表題（邦文および英文）は、行の左詰めで記載する。副題のある場合は、その前にハイフンを入れる。著者名（ふりがな）は行の右詰めで記載する。複数著者の場合、著者名を「・」で区切り、著者名の右肩に*、**の記号を付け、行を変えて機関名を記載する。論文の場合は、和文の表題、著者名の後に行を変えて、英文の表題、著者名を記載（表題例1、例2）する。

(3) 英文要旨は、著者が強調したいものを含め、目的、方法、結果について要約したものとする。

(4) キーワードは、5つ以内にし、英文をつける。

(5) 著者校正は1回。印刷上の誤り以外の訂正は原則として認めない。

(6) 図、表、写真は別紙とする。図表等の挿入箇所を本文原稿の右欄外に朱筆で指定する。

(7) 引用文献と参考文献

本文の引用箇所の右肩に小片括弧を付して番号を記入し、本文の末尾にまとめる。（表題例1、例2）

著者名が複数の場合は"and"を用いずにすべてコンマで区切る。（表題例1、例2）

雑誌の場合は、著者名：表題、雑誌名、巻(号)、ページ、発行年(西暦)の順に記載する。（文献例3、例4）

単行本の場合は、編者名：書名（版数）、発行所、外国文献は発行地、発行年(西暦)の順に記載する。（文献例5）

6. 論文審査

投稿された原稿については査読を行う。査読は、投稿された論文の専門分野に近い編集委員と外部査読委員とする。

【表題例1】 洞窟と環境の情報教育

鎌田 千里*・万里 小百合**・木村 久美子**

*△▲大学教授・**（株）関西情報開発

Information Education of Cave and Environment

Senri KAMATA*, Sayuri MANRI** and Kumiko KIMURA**

【表題例2】 観光洞窟に関する資源と情報分析

澤田 亜紀*・淀川 優**

近畿環境テクノ開発

Resources and information analysis about Tourism Cave

Yoshio SAWADA* and Masaru YODOGAWA**

【文献例3】 1) 大阪太郎：「地域貢献の研究」、CENS 学会誌、16(3) /、112-119、1994。

【文献例4】 2) B. Inoue・Y. Hasegawa：「Multileveled Caves and Landscape Evolution」、CENS、77/、1-30、2000。

【文献例5】 3) 西淀次郎：「情報化社会の経済活性化試論」、CENS 出版部、100-110、1993。